



# Saving the Great Barrier Reef

## サンゴを移植 グレートバリアリーフ再生に光



研究施設の水槽でサンゴを人工授精させた



次の点に注意してニュースを聴いてみよう!

- グレートバリアリーフでは、どのくらいの割合のサンゴ礁が白化現象で危機にひんしていますか。
- 研究チームが発見したサンゴ礁の再生方法は、どのようなものですか。
- また、その方法を試した結果はどのようなものでしたか。



### 精聴トレーニング

Practice 1 英文を見ずに、ナチュラルスピード (7) で聴いてみる。

Practice 2 英文を見ながら音声を聴き、聞き取れなかった箇所の音と文字を確認する。

必要ならゆっくりスピード (ポーズ入り 8) / ポーズなし (9) も活用し、聞き取り練習をする。

Practice 3 英文・語注・日本語訳を参考に、内容を理解する。その後、音声を繰り返し聴いて耳を慣らす。さらに、英語の音声をまねながら、音読する。

#### Optional

1. ナチュラルスピードまたはゆっくりスピードでシャドーイング。
2. ナチュラルスピードまたはゆっくりスピードでディクテーション。
3. 区切り訳の日本語を英語に変換する (反訳練習)。



### キーワード

reef 岩礁  
[ri:f]

(coral) bleaching (サンゴの) 白化現象  
[bli:tʃɪŋ]

juvenile 未成熟の動植物  
[dʒu:vənáil]

transplant ~を移植する、移す  
[trænsplánt]

take hold 根を下ろす、定着する  
[hóuld]



ナチュラルスピード

オーストラリア英語



ゆっくりスピード (ポーズなし)

アメリカ英語

## Saving the Great Barrier Reef

Another environmental crisis has been under way **for years** at Australia's Great Barrier Reef. At least two thirds of the huge organism **is at risk** of slow death by bleaching. But now, scientists believe they have found a way to reverse it. Basically, they are breeding new coral in special tanks at a research center. The juveniles are then transplanted back into the reef. One year later, scientists found, the young coral had taken hold in the open ocean—an encouraging sign the reef can be saved.

» 87 words (November 30, 2017)

### サンゴを移植 グレートバリアリーフ再生に光

オーストラリアのグレートバリアリーフでもまた、環境の危機的状況が何年間も進行している。この巨大な生物（であるサンゴ礁）の少なくとも3分の2が、白化現象によって徐々に死にゆく危機にある。だが現在、ある研究チームはこの状況を覆す方法を発見したと考えている。簡単に言うと、研究センターの特別な水槽で新たにサンゴを繁殖させ、そこで生まれた幼生をサンゴ礁に移植するのだ。（移植の）1年後、研究チームはその海域でその若いサンゴが根付いているのを確認した。これは、サンゴ礁が再生可能であるという明るい兆候だ。

（訳 石黒円理）



リスニングの  
ポイント

弱く発音される語の発音に注意しよう。

1行目の **for years** » [フイヤーズ]

2行目の **is at risk** » [イザツ(ト) リスク]

前置詞、代名詞 (this や that のような指示代名詞は除く)、接続詞、助動詞、be 動詞などは、特に強調されない限り、普通は弱く発音されます。そのような語の多くは、強く発音される場合と弱く発音される場合の2通りの発音を持っており、普通は後者が用いられます (弱く発音される場合の発音に《(弱)》のような印を付けている英和辞典もあります)。for years では、前置詞の for が弱く発音されており、[フ] くらいにしか聞こえません。誤って for を強く発音すると、four years と聞き間違えられますので、注意が必要です。また、is at risk では、is と at がつながって発音されており、[イザツ] のように聞こえます。なお、the man I was looking for や What are you looking at? のように、for や at のすぐ後ろに目的語がない場合には、これらの前置詞は強く、はっきりと発音されます。

解説 南條健助 (桃山学院大学国際教養学部准教授)